

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度 第3回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和3年8月24日(火) 9時30分～11時30分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議題	令和3年度高松市外部評価（第1日目） (1) 防犯活動推進事業 (2) 寝たきり高齢者等支援事業
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	石川委員、大美委員、沖田委員、肥塚委員、関委員、 田井委員、竹内委員、永森委員、野村委員
傍聴者	2人（定員8人）
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び結果

令和3年度高松市外部評価（第1日目）

（1）防犯活動推進事業

判定結果 **改善**

評価の趣旨 安全安心なまちづくりを推進する上で、地域コミュニティ協議会等に対する防犯カメラ設置費等補助金交付事業の必要性は認められるが、個人情報等の取扱い等、防犯カメラの適切な管理方法について、所有者及び管理者である地域コミュニティ協議会等へのフォローアップを行う体制を整えていただきたい。

なお、将来を見据え、事業の在り方を改めて精査することも必要である。

主な意見 ・個人情報や防犯カメラの適切な管理方法について、地域コミュニティ協議会等へのフォローアップを行う体制を整えていただきたい。

- ・補助対象団体であるコミュニティ協議会と地区（校区）連合自治会だけに本事業の周知を行っているが、広く市民に広報等を行うことで、効果的な場所に設置できる可能性があるため、広報の方法を検討していただきたい。
- ・地域によって設置の分布に偏りがあるように見えるため、均等にしたほうがいいのではないか。
- ・防犯カメラ設置に係る経費の削減につながる実施方法を検討してはどうか。
- ・将来を見据え、事業の在り方を精査することが必要ではないか。

（２）寝たきり高齢者等支援事業

判定結果 改善

評価の趣旨 寝たきり高齢者支援事業は、市民のニーズも高く、今後も必要な事業である。一方で、給付の対象を紙おむつに限定している点を再考するなど、真に必要な対象者への支援の在り方やその実施方法等を改めて検討することが必要である。

主な意見

- ・年間の給付回数や変更申請の受付方法を見直すなど、市職員の事務量を軽減し、効率的に事業を実施する方法を検討してはどうか。
- ・給付の対象を紙おむつに限定しているが、その他の物品等の支給も検討してはどうか。
- ・給付方法としては、対象者が市に依頼し、委託業者を通じて自宅へ配送する流れになっているが、市職員の負担が軽減されるスキームを検討してはどうか。また、経費削減のため、給付要件を見直すことを考えてはどうか。
- ・今後、対象人数が増大することが予測されるため、ICTを活用した実施方法を早めに検討していただきたい。